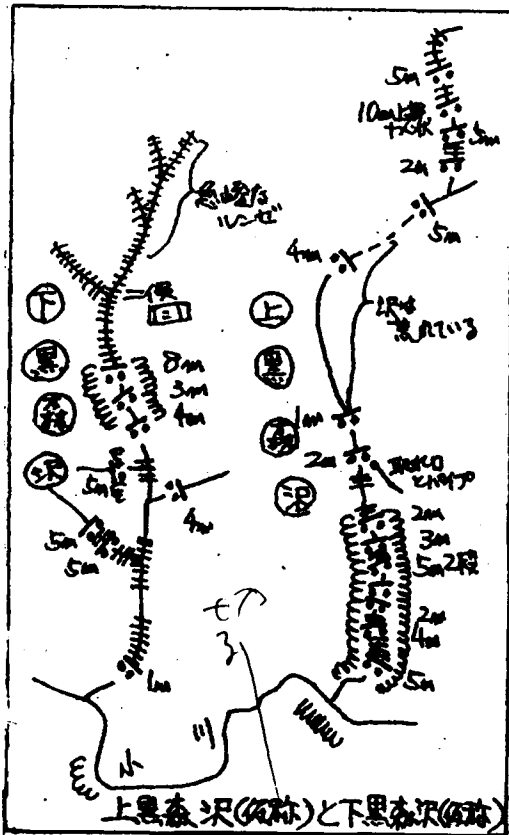


下黒森沢(仮称)

1983年7月30日



黒森山東方の尾根は、北側斜面がいやに切り立っている。樹林帯でなければとても下ることができないような急傾斜である。

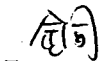
14:45下降を開始する。すぐ左手が急峻なルンゼとなった。あまり急すぎてここは下れない。ひたすら樹林帯を下る。やがて右手もルンゼとなり、14:55左右のルンゼの合流点へと出た。

を出して懸垂下降にて沢に下る。上部に比べるといくらか傾斜はゆるくなってきているとはいえ、まだかなりの急傾斜である。この先も2度、右岸の樹林帯に逃げ込んで、懸垂下降にて沢に戻るということを繰り返す必要があった。

15:20二俣着。左俣の方は右俣に比べると傾斜はゆるくなっているようだ。二俣のすぐ下に滝が3つ続く。最初の8mは、シャワーを浴びながらクライミングダウン。あとの2つはそれほど苦労することなく下れた。

あとは困難な所もないまま小川本流へ出る。15:45。 (記 c)

[タイム] 下降開始(14:45)→下降終了(15:45)



中野沢(仮称)

1983年11月5日

中野第2トンネル出口より右に入った所の林道脇に車を止めて少し歩くと、右に曲がる所より左に入る道がある。この道はすぐ二分する。まっすぐの道はこわれて渡るのは危険な状態の橋に突きあたる。左の道をたどり、丸太の橋を渡って沢ぞい